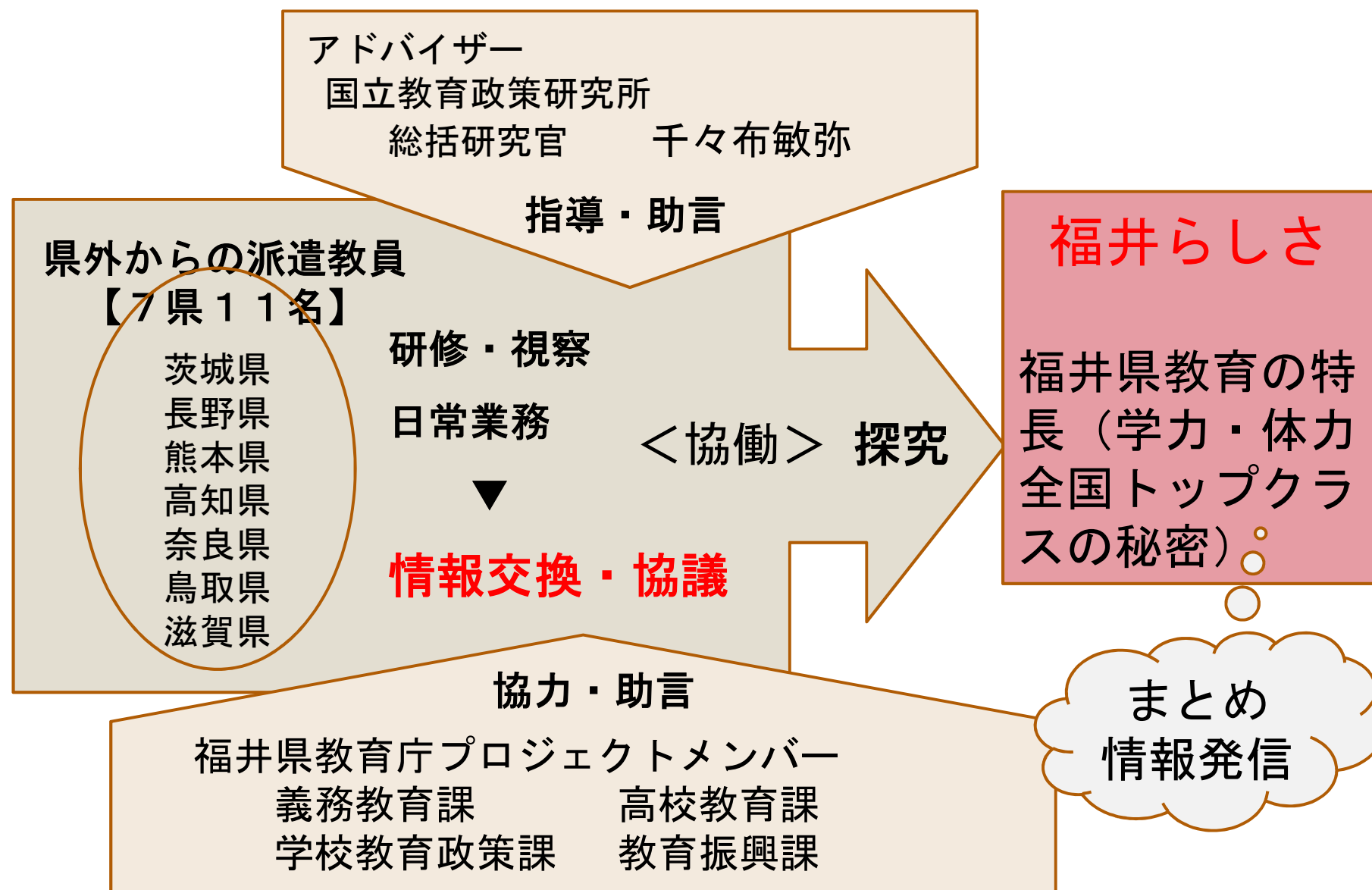


滋賀の教員の間から見た 福井らしさ

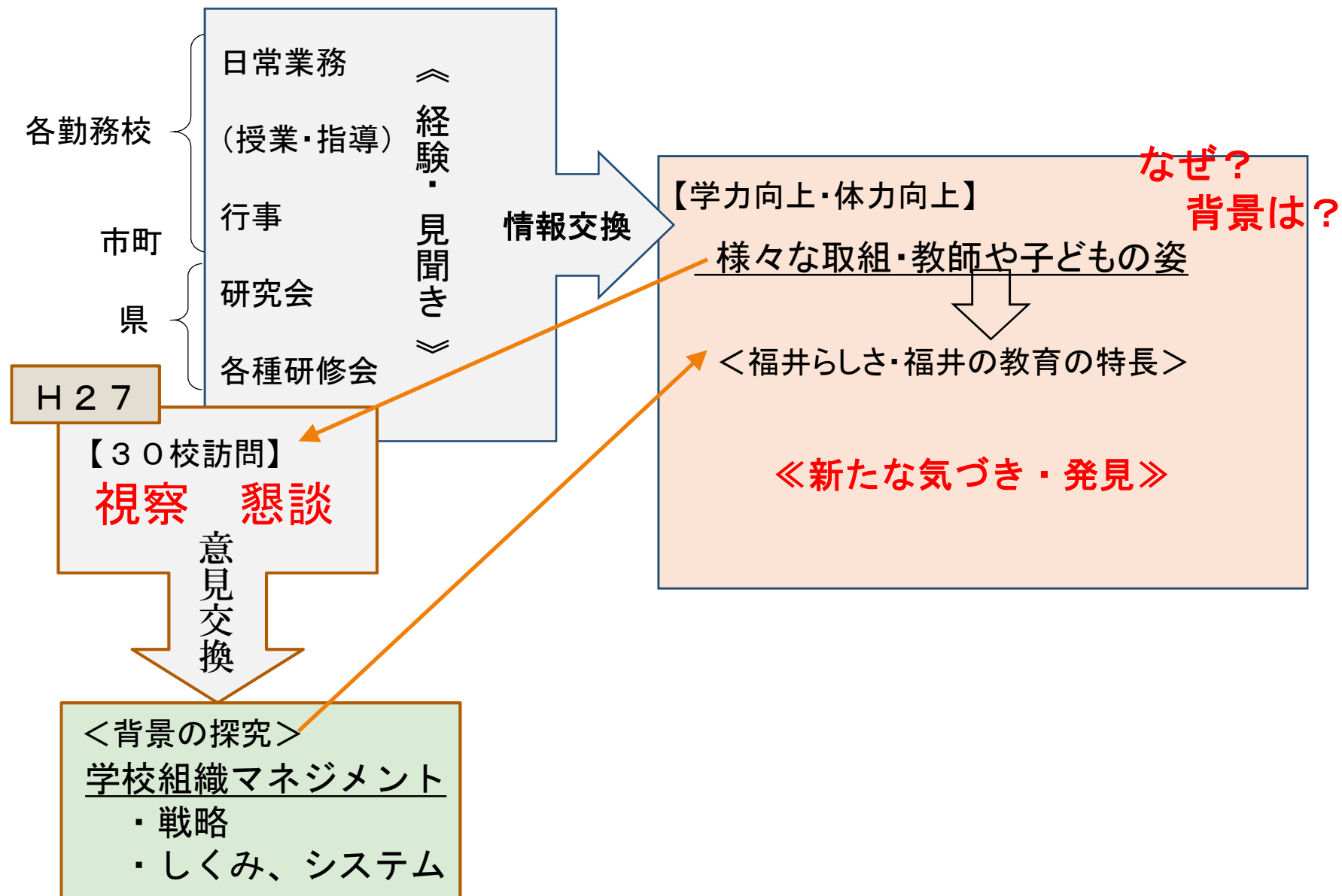
～学校現場への研修派遣を通して～

平成28年4月27日（水）
長浜市立長浜小学校
吉田 典子

「福井らしさを探る会」とは



「福井らしさを探る会」とは ～「30校訪問プロジェクト」について～



- 
- 1 実際に勤務して感じた福井らしさ
 - 2 学校訪問を通してみえてきた福井らしさの背景
 - (1) 学校経営にみえる福井らしさ
 - ① スクールプランの作成を通して
 - ② 組織づくりを通して
 - ③ 教職員の力量形成の取組を通して
 - (2) 新たに見えた福井の特色ある教育
 - ① 県や市町教育委員会との連携より
 - ② 福井型18年教育の取組より
 - (3) 福井らしさの秘密 ～教員のつながる場の形成～
 - 3 私が自校で活かしたい福井らしさ



1 実際に勤務して感じた福井らしさ

1 実際に勤務して感じた「福井らしさ」

- 真面目で規律正しく粘り強い子どもたち
- 同僚性の高い教職員集団、風通し良く和やかな雰囲気職員室
- 見通しをもち、粘り強くきめ細かい指導
- 教員の力量格差が小さい
- 無言清掃の広がり
- 体力向上の取組 等





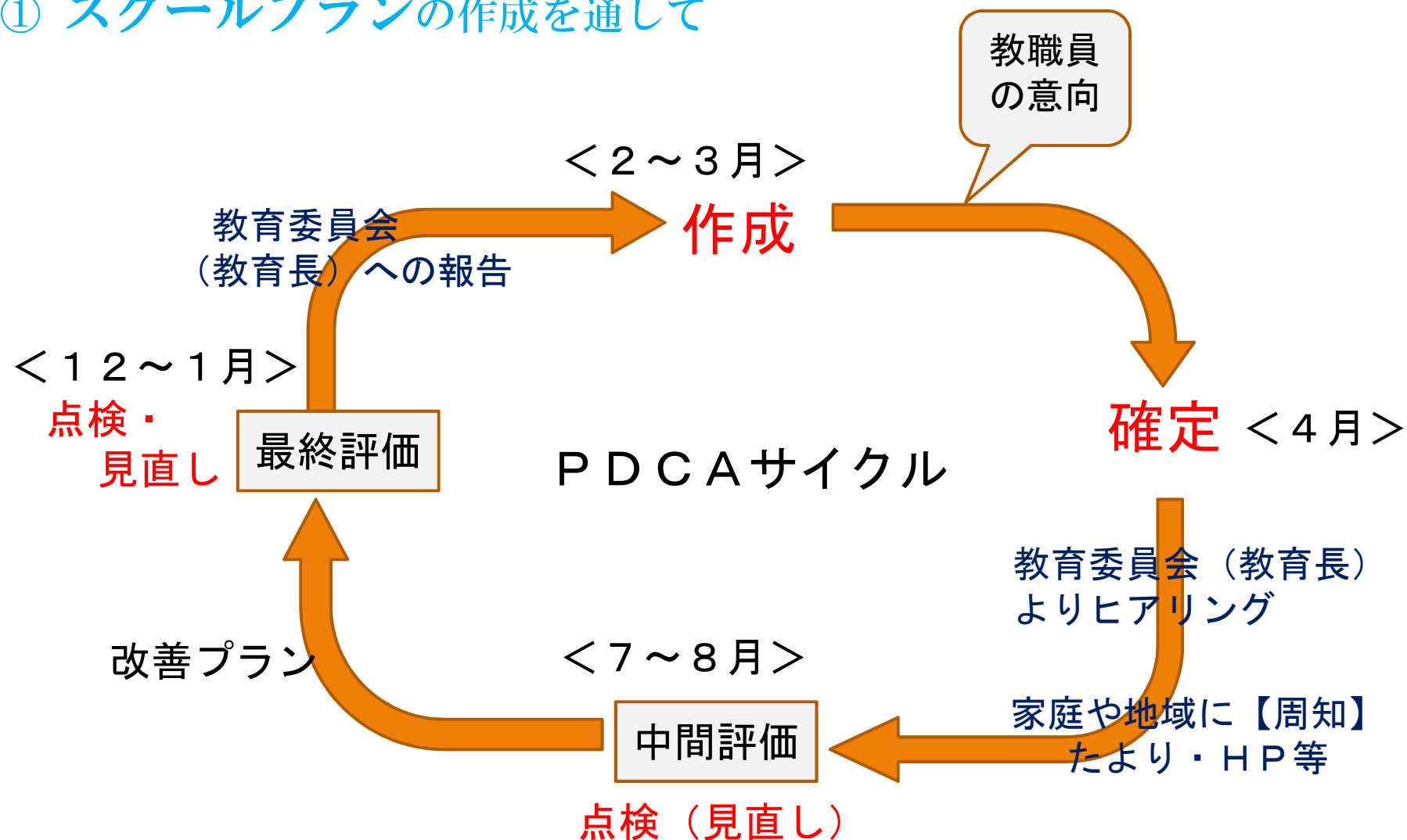
2 学校訪問を通してみえてきた福井らしさの背景

(1) 学校経営にみえる福井らしさ

- ① スクールプランの作成を通して
- ② 組織づくりを通して
- ③ 教職員の力量形成の取組を通して

学校経営にみえる福井らしさ

① スクールプランの作成を通して



学校経営にみえる福井らしさ

① スクールプランの作成を通して

平成27年度 鯖江市鳥羽小学校スクールプラン

【母音の宝能】

高い実効性

【学

社会の一員と

【め

途中であきらめずがんばる子 ばっちり聞いて伝える子 残さず食べ

(c)

目標や具体的取組の 重点化

【有

基礎学力の定着

規範意識や自己肯定

／ゆか！ 立合、

- 基礎基本の定着を目指す
- 全ての子どもにとって
い授業（ユニバーサル
を行う。学習後の検
80%の教員数：80%
言語環境を整える。
- 学び合う学習集団を
安心して学べる学級
読書活動を推進す
年目標達成児童数

数値目標の設定



達成目標 { 具体化
共通理解
評価
(成果と課題) 明確化

- きめ細やかな指導の
 - ・ 少人数指導、ＴＴ指導が行えるよう工夫
 - ・ **末漢字・計算テスト合格児童数：80%以上**
 - ・ 放課後や長期休業中も時間をもつ。
 - ・ 関心・意欲の高い子に伸ばす取組を行う

間をもつ。

- ・ 関心・意欲の高
伸ばす取組を行

る。

一点突破のスクールプラン

知	徳	体
2 項目	1 項目	1 項目
○	○	○
○		

の楽しさを味わわせる。

- ・業間体育を計画的に実施する。
- ・弱点克服のための取組を行う。縄跳び
二重跳びが学年目標回数できる児童数：
80%以上

- 基本的生活習慣の徹底
 - ・ よりよい生活習慣を意識付けるための健康観察・清潔調べるを行う。
 - ・ 生活チェックを計画的に実施する。

- 食育の推進
 - ・日々の給食指導の充実を図る。給食の準備完了時刻達成 80%の学級数: 80%以上

- ・地域行事への積極的な参加を推奨する。

- 学校参観日の設定
 - ・保護者や地域に積極的に授業を公開する。
 - ・多様な教科・領域を公開する。

- 双方向での情報発信
 - ・学校だよりを発行する。学校だより発行数：年間 40 回以上
 - ・HP でタイムリーな情報を発信する。
 - ・保護者や地域の方の意見を反映させる。

- 安心・安全に向けた取り組み
 - ・地域と連携した見守り隊活動の充実を図る。見守りボランティアの数：1割増
 - ・計画的に避難訓練を行う。
 - ・情報モラル教育を計画的に行う。
 - ・職員全員でコンプライアンスを重視す

学校経営にみえる福井らしさ

① スクールプランの作成を通して

高い実効性

目標や具体的取組の
重点化

数値目標の設定



達成目標 { 具体化
共通理解

評価
(成果と課題) 明確化

- ◎ 基礎基本の定着を目指した授業改善
 - ・ 全ての子どもにとって分かりやすい授業（ユニバーサルデザイン）を行う。学習後の振り返りの取組率 80%の教員数：80%以上
 - ・ 言語環境を整える

一点突破のスクールプラン

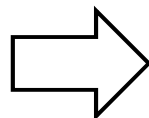
知	徳	体
2 項目 ○ ○	1 項目 ○	1 項目 ○

- 時間をもつ。
- ・ 関心・意欲の高い子どもたちを更に伸ばす取組を行う。

学校経営にみえる福井らしさ

① スクールプランの作成を通して

スクールプラン



学力向上プラン

学校における
あらゆるP D C A
の要

年間校内研究計画

体力推進計画

各分掌の指導計画

中には、

教師個人の
年間指導計画

学校経営にみえる福井らしさ

② 組織づくりを通して

《事前アンケートより見えること》

【何を意識して校内人事を行っているか？】

適材適所（64％） 本人の希望を重視（68％）

- ・「特定の者が特定の分掌を長く担当することがないように」
- ・「すべての校務を担当できるように」
- ・「チームワークを大事に」
- ・「ミドルリーダーを中心に」

教員集団のつながりの強さ

学校経営にみえる福井らしさ

② 組織づくりを通して

《校長先生への聞き取りより》

※校内人事 「教職員の意向を丁寧に聴き
モチベーションを高める工夫」

○ 校務分掌 「2～3年で交代」
「若手や中堅教員に
多くの経験をさせる」

○ 学年構成

小 「若手とベテランを組み合わせる」
「中学年を重視した担任配置をしている」

中 「学級担任や学年組織を重視して構成している」

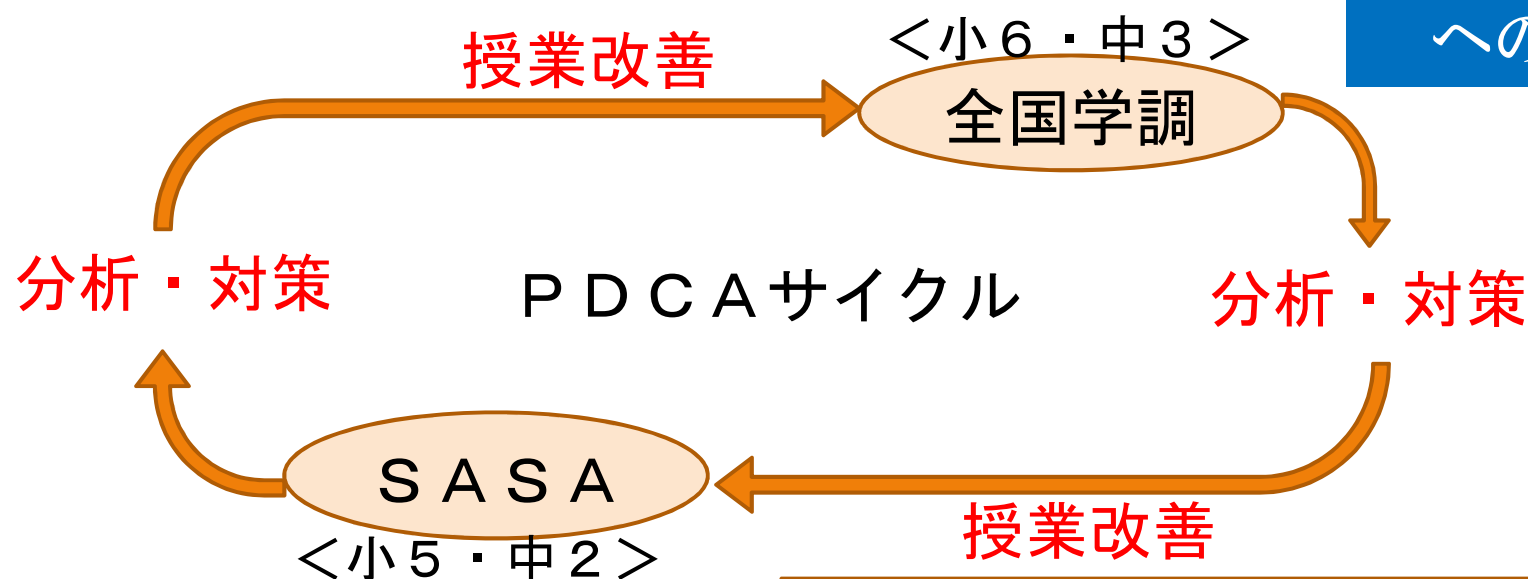
組織の中で
人を育てる

戦略的な組織運営（マネジメント）

学校経営にみえる福井らしさ

③ 教職員の力量形成の取組を通して

全国学調
への取組



福井県でみられる取組

教職員の力量形成

- ・ 学力調査の問題分析や採点を調査学年だけでなく協力して行っている。
- ・ 取組について全体研修を通じて全教職員が共通理解する。
- ・ SASA、全国学調の結果分析をする。
- ・ **学年会**や**教科会**で調査後の授業改善について協議する。

学校経営にみえる福井らしさ

③ 教職員の力量形成の取組を通して

《事前アンケートより見えること》

【教職員の力量形成のために重要と思うことは？】

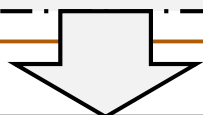
「チーム」「同僚性」

「個々の教職員に応じたアドバイスや支援」

「教職員の個々の新しい発想」

「ミドルリーダーによる若手の指導」

校内研究を通じた力量形成が重要



研究主任を重視

「研究主任の人選とサポート体制」

「研究テーマをもとに研究主任と校長がじっくりと話し合う」

「ある部分はリーダーが指示することが大事」

「研究主任自身が何をやりたいのかを自覚させる」

学校経営にみえる福井らしさ

③ 教職員の力量形成の取組を通して

＜力量形成につながる取組＞

- 指導主事訪問を通じた取組
- 日常的な授業公開（一人一授業実践）
- 小教研・中教研などの盛んな自主研修
- 福井大学教職大学院との連携
-
-
-

学校経営にみえる福井らしさ

③ 教職員の力量形成の取組を通して

指導主事訪問
を通じた取組

- ・ 全員公開授業←全指導案事前検討会
- ・ 一般授業について、個別に指導主事より指導助言
- ・ 共同参観授業について、管理職、指導主事が入って研究協議
- ・ 共同参観授業は、他の学校の教員も参観自由

日常的な授業実践
(一人一授業)

- ・ 同僚からの感想と管理職より丁寧な指導助言
- ・ 指導案と授業動画が、全教員がPCで閲覧可能



学校経営にみえる福井らしさ

③ 教職員の力量形成の取組を通して

小教研・中教研等
の盛んな自主研修

付けたい力を明確にした自作教材(ワークや
テキスト、学力テスト)の作成
小中学校教育研究会に全教員が所属
県や市町ごとに指定研究
校長会による鯖江市中堅教員研修講座



教育研究会あるいは組合作成の副教材

- ・理科ワーク
- ・家庭科ワーク
- ・わたしたちの鯖江市
- ・白川博士に学ぶ楽しい漢字学習
- ・算数文章題
- ・市の確認テスト
- ・福井版心のノート
- ・夏休みの友
- ・冬休みの友
- ・夢カルテ など

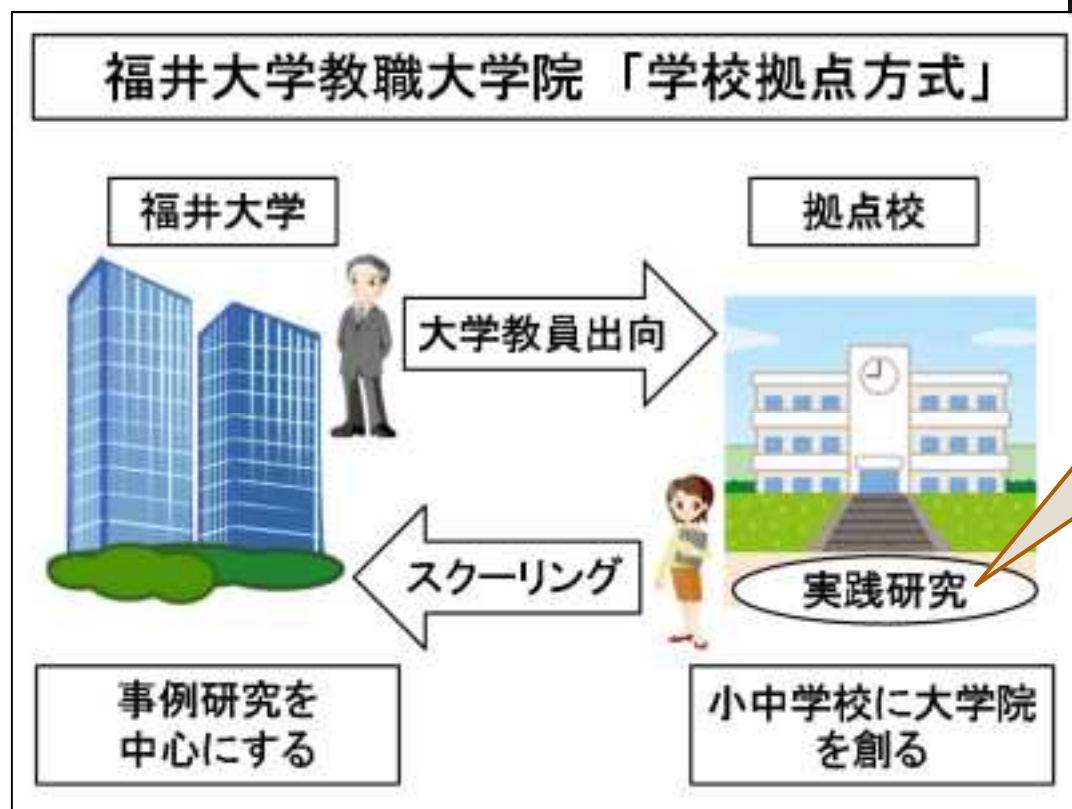
学校経営にみえる福井らしさ

③ 教職員の力量形成の取組を通して

福井大学教職大学院
との連携



▲「子どもの学びを見取る」
研究手法を取り入れる



「スクールリーダー養成コース

- ・勤務校で現職教員が、学校が直面する課題を大学院の教官と共同研究を実施

拠点校の全ての教員の
力量形成につながる



2 学校訪問を通してみえてきた福井らしさの背景

(2) 新たにみえた福井の特色ある教育

① 県や市町教育委員会との連携より

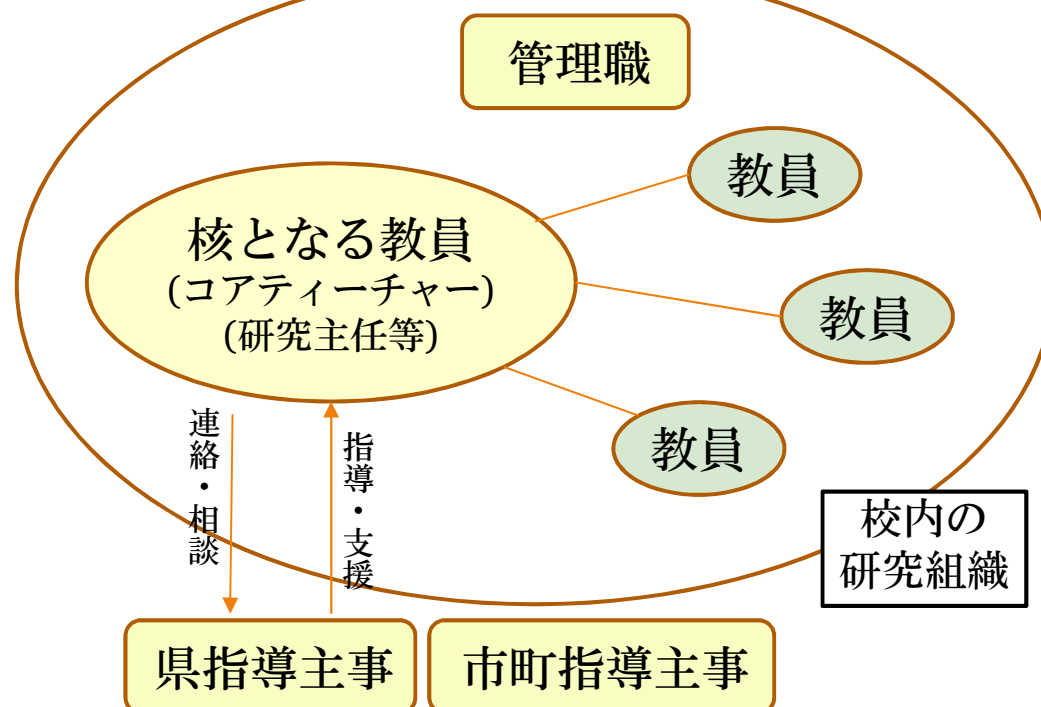
② 福井型 18 年教育の取組より

新たにみえた福井の特色ある教育

① 県や市町教育委員会との連携より



コアティーチャー養成事業



「授業名人」制度

近隣校から参観

新たに見えた福井の特色ある教育

② 福井型 18 年教育の取組より

一貫性のある教育

18 年間の
見通し

各発達段階でより高い
力を身に付けさせたい

- ・ 保幼小接続
- ・ 小小連携
- ・ 小中連携
- ・ 中高連携

交流
等



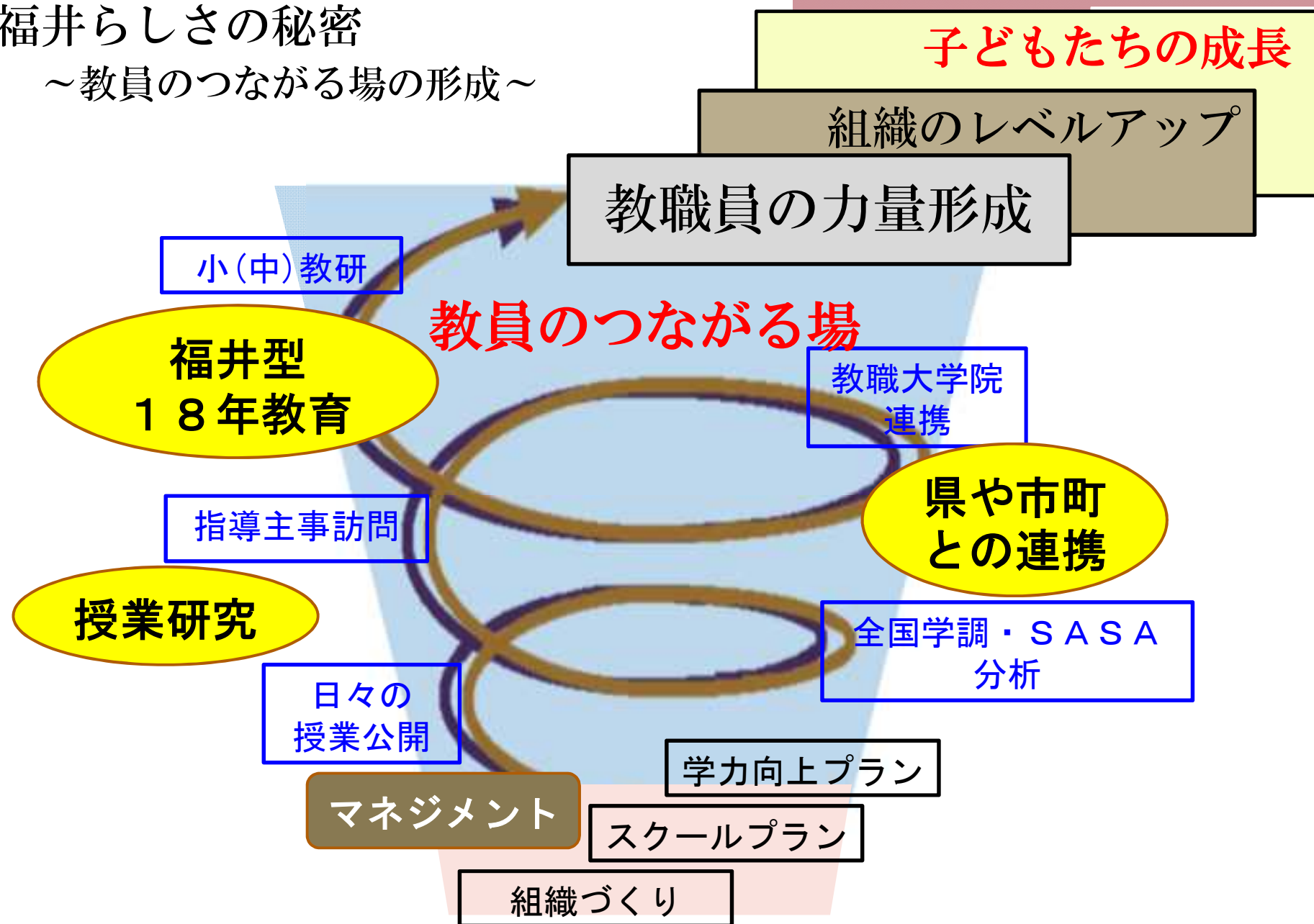
2 学校訪問を通してみえてきた福井らしさの背景

(3) 福井らしさの秘密

～教員のつながる場の形成～

福井らしさの秘密

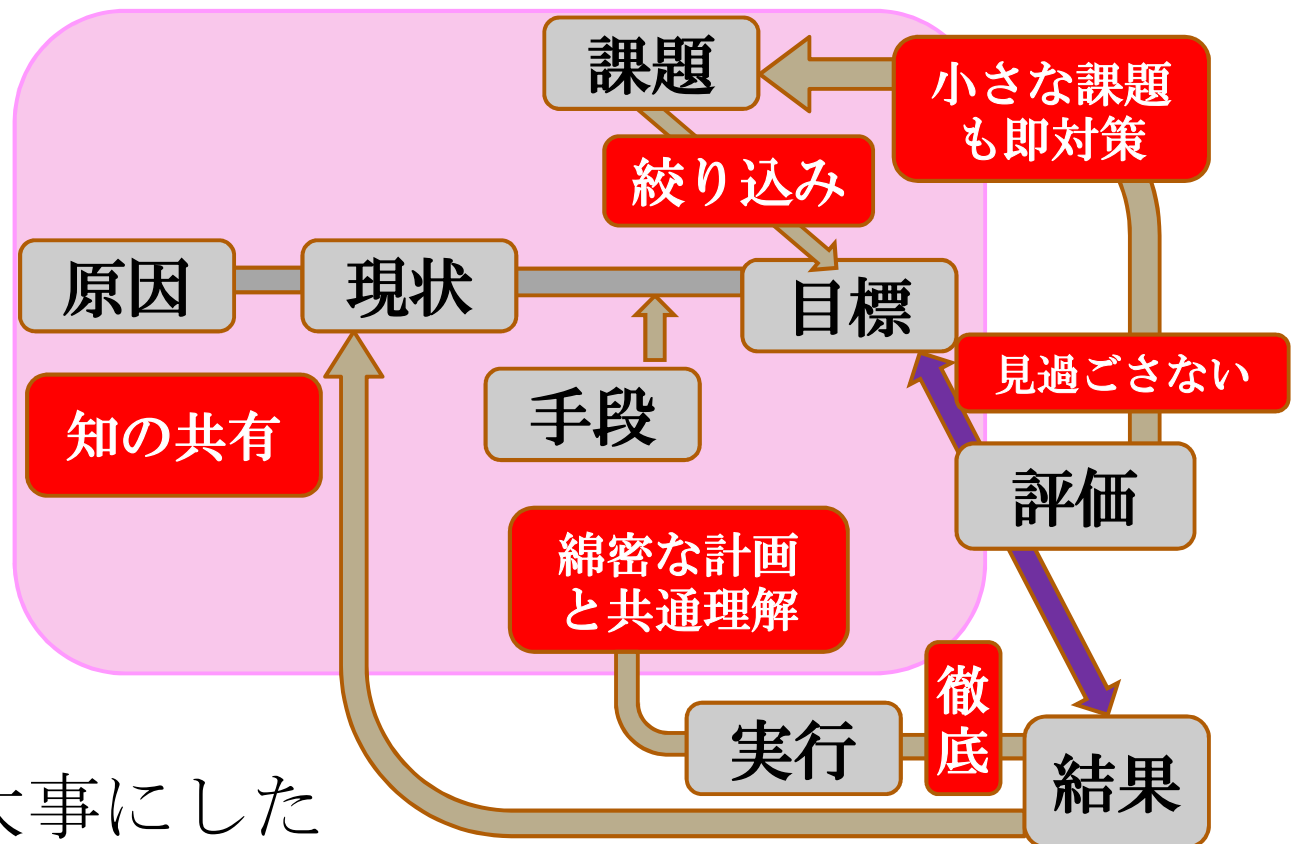
～教員のつながる場の形成～





3 私が自校で活かしたい福井らしさ

私が自校で活かしたい「福井らしさ」



① 計画と評価を大事にした PDCAサイクルの確立

- 重点目標の絞り込みと数値目標化により、教員の方向性を揃え、協働性を高める。
- 取組に対する価値付けをし、全教員による徹底指導を行う。
- 評価による点検・見直しを行い、取組への意欲を継続させる。

私が自校で活かしたい「福井らしさ」

② 授業研究を核に教員の力量を高める

- ・ センター研究事業「学ぶ力向上プロジェクト」研究委員として、福井での学びや滋賀県で目指す主体的協働的な学びについて研究実践を深め、伝える。
- ・ 全国学力調査の結果を分析し、授業作りに活かす。
- ・ 指導案の検討会や参観授業の機会を増やす。

教員間で授業について語る場（知識や経験の共有）ができれば、多忙感解消！
授業の中で、学び合う子どもを育てることで生徒指導上の問題も減少！



貴重なお時間をいただき
ありがとうございました

